



ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の桑名市博物館への導入が決定しました

スマートフォンを利用して展示解説などを楽しめるミュージアム向け無料ガイドアプリ「ポケット学芸員」（開発元：早稲田システム開発株式会社（東京都新宿区））のサービスが、桑名市博物館（三重県桑名市）において、令和6年10月12日(土)開幕の特別企画展「生誕百年 小林研三」より導入されることが決定しました。

導入の背景

一般利用者向けに博物館収藏品データベースを公開するウェブページの構築を検討していた同館では、市民から要望の声を受けて、気軽に運用できる来館者向けの音声ガイドシステムの実現も、合わせて模索していました。館としても、桑名市の持つ文化遺産を広く発信しつつ来館者サービスの拡充も推進していきたいという職員の強い想いがあり、入札の上両者を同時に実現できるクラウド型収藏品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」の採用を決定し、

その機能の一部であるポケット学芸員を利用することになりました。

ポケット学芸員選定理由

音声による展示ガイドなどのコンテンツを来館者のスマートフォンに直接配信できるポケット学芸員は、専用端末など新たな機材の設置が一切不要である点のほか、収藏品データベースとの連動が可能など、各種設定作業も簡単に行える点などが総合的に評価されました。

配信コンテンツの特徴

本日より公開の音声ガイドでは、出品されている資料や作品のアウトラインや注目ポイントなどを中心に、企画展での鑑賞体験をより深く楽しむためのコンテンツが配信されています。

桑名市博物館について

昭和46年開館の旧・桑名市立文化美術館をベースに、県下初の市立博物館として昭和60年にオープンしました。桑名は、江戸時代は十一万石の城下町であったことから、松平定信および桑名藩に関係する資料のほか、刀剣や古萬古及び萬古焼（陶器）、茶道関係資料、考古民俗関係資料、さらには絵画や郷土関連の浮世絵版画まで幅広く所蔵。桑名をテーマにした特別企画展や収藏品展を開催しています。



導入施設

桑名市博物館

〒511-0039 桑名市京町37-1
電話 0594-21-3171
<https://www.city.kuwana.lg.jp/bunka/bunkashisetsu/hakubutsukan/>

2024年9月1日時点でサービス提供中 および提供予定のミュージアム

北海道博物館／北海道開拓の村／北海道立三岸好太郎美術館／だて歴史文化ミュージアム／中島・湖の森博物館／アイヌ文化交流センター(サッポロビールカコタン)／洞爺湖有珠山コネスコ世界ジオパーク／とうや湖ぐるっと周遊公園／史跡入江・高砂貝塚／入江・高砂貝塚館／北海道立近代美術館／史跡北黄金貝塚公園／札幌芸術の森美術館／札幌芸術の森野外美術館／知床博物館／北海道立剣路芸術館／洞爺湖芸術館／八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館／八戸市博物館／史跡根城の広場／一関市博物館／岩手県立博物館／花巻市博物館／仙台市博物館／石巻市博物館／歴史と文化の美術館 わらべの里／大山忠作美術館／諸橋近代美術館／いわき震災伝承みらい館／茨城県近代美術館／ミュージアムパーク茨城県自然博物館／予科練平和記念館／徳川ミュージアム／歴史と未来の交流館／群馬県立土屋文明記念文学館／飯能市立博物館 きつとす／戸田市立郷土博物館／鉄道博物館(さいたま市)／入間市博物館AUT／旧石川島製紙西洋館／旧黒須銀行／造幣さいたま博物館／埼玉県立近代美術館／浦安市郷土博物館／新宿区立林芙美子記念館／世田谷区立次大夫堀公園民家園／松岡美術館／新宿区立漱石山房記念館／昭和女子大学光葉博物館／パルテノン多摩ミュージアム／くこたち郷土文化館／国立印刷局 お札と切手の博物館／慶應義塾大学／八王子市絹の道資料館／賀川豊彦記念松沢資料館／福生市郷土資料室／北区飛鳥山博物館／桑都日本遺産センター八王子博物館／東京家政大学博物館／紙の博物館／世田谷区立郷土資料館／世田谷区立岡公園民家園／國學院大学博物館／昭和館／船の科学館／立川市歴史民俗資料館／しよら丸 館(戦傷病者史料館)／消防博物館／田端文士記念館／郷さくら美術館／青梅市郷土博物館／横須賀美術館／神奈川県立歴史博物館／川崎市岡本太郎美術館／箱根町立郷土資料館／ニュースパーク(日本新聞博物館)／大和市 つる舞の里歴史資料館／あつき郷土博物館／横須賀市自然・人文博物館／富山県[立山博物館]／富山県水墨美術館／高志の国文学館／小松市立宮本三郎美術館／小松市立博物館／福井市立郷土歴史博物館／名勝養浩館庭園／福井県立美術館／福井県立歴史博物館／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館／敦賀市立博物館／山梨県立美術館／長野市立博物館／高橋おゆみ人形館／松本市美術館／松本市時計博物館／松本市立博物館／大垣市守屋多々志美術館／大垣市立墨俣図書館／岐阜県博物館／大垣市日本昭和音楽村江口夜話記念館／中津川市鉱物博物館／大垣市墨俣くら館／スピアセンター 学習館／大垣市立図書館／大垣市上石津郷土資料館／大垣市輪中館・輪中生活館／大垣市奥の細道むすびの地蔵記念館／大垣市歴史民俗資料館／スピアセンター 文化会館／大垣郷土館／大垣市立上石津図書館／多治見市モザイクタイルミュージアム／大垣城／大垣市金生山化石館／赤坂港会館／旧清水家住宅／墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)／東御門・巽櫓／静岡市歴史博物館／田原市博物館／豊橋市二川宿本陣資料館／豊橋市美術博物館／古川美術館／稲沢市花菱記念美術館／碧南市藤井達吉現代美術館／名古屋市美術館／刈谷市歴史博物館／桑名市博物館／彦根城博物館／滋賀県立琵琶湖博物館／史跡草津宿本陣／草津市立草津宿街道交流館／向日市文化資料館／重要文化財「聴竹居」／大阪市立東洋陶磁美術館／逸翁美術館／シマノ自転車博物館／大阪国際平和センター(ピースおおさか)／貝塚市善兵衛ランド／造幣博物館／兵庫県立歴史博物館／神戸ビーブ館／小林一三記念館／兵庫県立歴史博物館／姫路市立美術館／但馬牛博物館／奈良文化財研究所／松江歴史館／松江エホランエンヤ伝承館／島根県立宍道湖自然館・ユウス／島根県立美術館／鹿島歴史民俗資料館／頼山陽史跡資料館(広島県立歴史博物館分館)／みよ風土記の丘ミュージアム(広島県立歴史民俗資料館)／ふくやま文学館／造幣局広島島高造幣展示室／広島市現代美術館／ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)／湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)／UBBビエンナーレ(現代日本彫刻展)／中原中也記念館／萩博物館／高松市公文書館／香川県立ミュージアム／瀬戸内海歴史民俗資料館／高松市美術館／菊池寛記念館／高松市埋蔵文化財センター／高松市平和記念館／高松市讃岐国分寺跡資料館／特別史跡讃岐国分寺跡史跡公園／上島町岩城郷土館／愛媛県総合科学博物館／高知市立自由民権記念館／高知県立坂本龍馬記念館／高知県立歴史民俗資料館／香美市立やなせたかし記念館／高知県立美術館／横山隆一記念まんが館／嘉麻市立織田廣喜美術館／筑前町立大刀洗平和記念館／北九州市立文学館／北九州市立いのちのたび博物館／佐賀県立博物館・美術館／佐賀県多良木市／佐賀県立九州陶磁文化館／長崎歴史文化博物館／諫早市美術・歴史館／熊本県立美術館／くもと文学・歴史館／熊本県立装飾古墳館／天草市立御所浦恐竜の島博物館／熊本博物館／臼杵市歴史資料館／種子島開発総合センター「鉄砲館」／かこしま環境未来館／鹿児島県歴史・美術センター黎明館／鹿児島県立博物館／天城町歴史文化産業科学資料センター「ユイの館」／

ポケット学芸員の概要

「ポケット学芸員」は、スマートフォンを利用して展示解説を閲覧・視聴できるガイドアプリです。ひとつのアプリを複数のミュージアムで共同的に使える点が特徴で、スマートフォンにインストールしておけば、全国のサービス実施館で展示ガイドを利用することができます。ガイド内容は、それぞれの博物館・美術館が独自に工夫して制作する仕組みを採用。館によってテキスト画面だけでなく写真や動画、音声など多様なスタイルで情報が配信されています。

アプリの詳細情報はここから

「ポケット学芸員」ホームページ

<http://welcome.mapps.ne.jp/pocket>



アプリのダウンロードはここから

ポケット学芸員は、GooglePlay／App Storeにて、無料でダウンロードいただけます。「ポケット学芸員」と検索してください。

(推奨OS：Androidは5.0以上、iOSは10.0以上)

Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.waseda.pocket.curator>



iOS

<https://itunes.apple.com/jp/app/pocket-curator/id1088763931?mt=8>



「ポケット学芸員」導入ご検討施設の皆様

ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」は、クラウド型収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」の機能の一部です。導入には「I.B.MUSEUM SaaS」のご契約が必要となります。

【お問い合わせ窓口】

早稲田システム開発株式会社

TEL：03-6457-8585

Email:sales@waseda.co.jp

【Webお問い合わせフォーム】

<http://www.waseda.co.jp/contact>